

本年の課題共有会は、昨今の状況に鑑み、7月にオンラインで開催しました。本スカラシップの先輩スカラー(2期生・3期生・4期生)を交え、留学前後の課題や自身の留学がキャリアにどうつながるかなどについて、複数のグループに分かれた2021年度生(10期生)の間で活発なディスカッションが行われました。

また、先輩スカラーからは、各自の留学成果や留学中の印象深いエピソード、スカラシップの使用用途、留学と進路、今後の抱負といった点について、パネルディスカッション形式で発表してもらい、留学を控えた10期生にとって貴重なアドバイスとなりました。

## 先輩スカラーからのメッセージ

## Message



スカラー2期生(男性、理系)  
勤務先: 陸運(日本企業)

### 留学先の人々が“初めて出会う日本人”として、日本を知ってもらう努力を

留学前の課題共有会で“自分はその国を知るだけでなく、現地の人に是非日本を知ってもらってください”というアドバイスを得たことから、留学先では月に一度日本食パーティーを開き、日本の文化を多くの方に体感してもらう機会をつくりました。留学先の学生との仲も深まり、イベントに誘われたり、短期の休みに友人の国を訪れたりとプライベートが充実。私も是非、みなさんに同じアドバイスをしたいと思います。



スカラー4期生(女性、理系)  
勤務先: 食料品(日本企業)

### 違いの発見は、自分の選択肢になる。常識をゼロにして、大胆に経験を積もう

世界共通の常識などありません。留学前に一度、自分の常識をゼロにして、留学先でいろいろな違いを発見し、それぞれの経緯や背景を理解して、自分のものにしてみてください。それらは自分の選択肢になり、将来の可能性を広げます。反対に、まったく異なる文化のなかで自分との共通点を見出すと、勇気づけられ、励みにもなります。今よりもっと大胆に、多くのことに挑戦してみてください。

## 2021年度奨学生の声~留学に向けて

## Voice

### Voice ヨーロッパで 先端技術を学びたい

留学後は、再生可能エネルギー関連の企業で活躍したいと思っている。そのため、環境分野の研究が進んでいるスイスに留学することで、先進技術や知識、あらゆる事例を積極的に学んで、今後役に立てていきたい。

### Voice 漠然とした不安を 克服したい

楽観的な性格なのだが、時折、漠然と大きな不安に襲われることがある。留学中にそのような不安に襲われたときは、現地で得た友人や、日本の友人にコンタクトをとって気持ちを打ち明けたり、不安を具体的に相談したりして対処したい。

### Voice 現地語を習得したい

留学先では、今までまったく馴染みのない言語が使われている。もし英語が通じたとしても、その国の文化を理解するには、現地語をきちんと学ぶ必要があると思うので、事前に現地語をしっかり学んでおきたい。

### Voice まずは留学の目標を 達成したい

帰国時期が6月になるため、日本の就活のタイミングと合わないことが不安だが、まずは目の前の留学における目標に集中し、突き進んでいきたい。そして、帰国後も同期の奨学生とつながって、就活の情報を共有したい。

### ■課題共有会の様子 (対面開催時:2019.4.5)

